

2022 年度 1 月号

(第 6 2 0 号)

令和 5 年 1 月 3 0 日発行

心ひとつに

柏市立柏第五中学校
柏市高田 919-1
TEL 7143-2645
FAX 7146-3295
HP <https://kashiwaed.jp/dai5-j/>

始業式校長の話（要約）

昨年は、コロナは依然として私たちの生活に一定の制限をしていますが、3 年ぶりに林間学校や修学旅行などの宿泊行事、全校が一堂に会しての体育祭、そして、文化会館での柏葉祭が実施できたことは大変良かったと思います。また、部活動や外部のクラブ等に所属している生徒の皆さんが、運動面においても文化面においても輝かしい成績を収めることができた素晴らしい 1 年でした。一方、3 年生の廊下には昨年の漢字として「悲」が選ばれ、京都の清水寺で発表された漢字は「戦」でした。世界的に見れば皆さんも感じているようにこれまで生きていく中で最も辛い一年を多くの人が過ごしたといえます。国連トップのアントニオ・グテーレスさんは、新年に向けてのビデオメッセージの中で、「私たちはかつてないほど平和を必要としています。」と言っています。その中で、彼は、「ネット上の平和と地域社会の平和」についても触れています。皆さんは SNS 上で不適切な発言をしていませんか。皆さんは地域の人に感謝し、登下校中などに迷惑をかけていませんか。毎年、新年は生まれ変わる瞬間です。一度去年の自分を白紙に戻し、より良い自分になれるようしっかりと目標を立て頑張ってください。3 年生は悔いのない冬休みを過ごすことが出来ましたか。皆さんは、2 学期に貧困と共に生きるフィリピンの子供たちのことについて知る機会を得ました。しかしながら、世界にはもっと悲惨な状況、戦争、山火事、干ばつ、貧困、飢餓から逃れるために家を追われた人が 1 億人以上います。勉強に行き詰まった時、やる気が出ない時、是非、世界には勉強がしたくてもできない同年代の子供たちがいることを思い出してください。昨日から本格的な受験が始まりましたね。体調管理をしっかり行い自分に負けないで今の自分の実力を出し切ってほしいと思います。2023 年、私たち教職員と皆さんの言葉と行動の中心に思いやりを据えることができれば、五中ではもう一度自慢する学校に向かって仕切りなおすことができるはずです。

1 月 2 2 日、柏市が生んだテニス界のレジェンド国枝慎吾選手が引退を発表しました。知っている人も多いと思いますが、国枝選手はいつも「俺は最強だ！」と手書きで書かれたシールをラケットの内側に張ってプレーしてきました。今から 15 年以上前に国枝選手のメンタルトレーナーを務めていたオーストラリア人のアン・クインに「僕は世界一になれると思いますか？」と国枝選手が問いました。クインさんが「そう思う？」と尋ね返すと、国枝選手は「なりたいです。」と答えました。国枝選手が自分自身を信じていないように感じ取ったクインさんは「なりたい」ではなく「なる」と毎日言いなさいとアドバイスしたそうです。その当時世界ランキング 10 位に入るか入らないかの選手だった国枝選手がその後世界一の選手になり、シングルスの世界大会で 28 回もチャンピオンになりました。東京パラリンピックで金メダルを取り、号泣していた姿が今も思い出されますが、32 歳で出場したりオデジャネイロパラリンピックではベスト 8 で敗退しています。実は大会の数カ月前にひじの手術をしていたそうです。「引退」の文字がちらつく中、フォームの改善、ラケットの握り方も変えその後復活するも、新型コロナの影響で東京大会の延期が決まり、眠れない日々が続きました。どん底の中から研究に研究を重ね、生命線のバックハンドを大会直前に修正し、勝ちとったのが東京パラリンピックの金メダルでした。国枝選手の生き方に私たちは多くのことを学ぶことができるのではないのでしょうか。



～栄光の軌跡～

【女子バスケットボール部】 柏市 1 年生大会 A ブロック優勝
【ソフトテニス部】
令和 4 年度柏市ソフトテニス連盟杯柏市中学校 1 年生大会女子個人 優勝
鈴木優花 木田柚春
【卓球部】
柏市 1 年生大会 男子個人の部 第 5 位 水間誠之介 齊藤大翔
柏市 1 年生大会 女子個人の部 第 3 位 石井さくら
【吹奏楽部】 第 48 回千葉県アンサンブルコンテスト 銀賞
仲田麻結・布施結衣・北村賢伸・齋藤芽吹・萩本瑞季・新井優希菜・永山花
【特設駅伝部】
柏市中学校新人駅伝大会 男子 A 5 位入賞 女子 A 5 位入賞
男女共に県新人大会出場 優秀選手賞 1 区 宮川大樹
男子 B 部門 2 位 女子 B 部門 3 位
柏市新人ロードレース大会 男子の部 優勝：西野陽稀 5 位：馬場穂太
6 位：齊藤蒼虎
【その他】第 39 回植物画コンクール 準佳作 2-3 早川優凜

3 学期が始まると同時に、受験も本格的に始まりました。すでに結果が出ている私立高校も多く、私立高校が第 1 希望で合格をした生徒は、卒業まで 1 カ月以上、高校入学までは 2 カ月以上もあるわけですから、精神的にはかなり余裕があると思います。喜びを噛み締め、一息ついたら、授業への積極的な参加は勿論のこと、時間の制約のある中で今までできなかったこと、運動や読書、趣味等に時間を割くこともできるでしょう。しかし、皆さんに私からお願いがあります。まだ進路が決まっていない学年の仲間やクラスメートが最後までモチベーションを保ち、進路開拓に立ち向かえるように協力してほしいのです。まずは最後まで授業を真剣に受けること、勉強が得意な人は休み時間等に苦手な生徒に教えることもできるでしょう。時には励ましたり、悩みの相談に乗ってあげたりすることも応援することになると思います。過去には、合格後に卒業式を成功させるための実行委員会を立ち上げ手作りの卒業式を創り上げた学年もあれば、落ち葉掃き等、学校の環境整備に取り組んでくれたりした生徒もいました。自分が今できることは何かを考え、残された中学校生活を充実させてほしいと思います。

コラム

ひまわり学級では、昨年度から自分たちで作ったメッセージカード・ポチ袋等を販売して、ユニセフに募金をしています。今年度も 6,400 円の売り上げを全額寄付し、ユニセフからお礼のお手紙をいただきました。今年の漢字に「平」を選んだ生徒もいます。このような地道な活動の積み重ねが今の世の中には大切なことだと教えてくれました。

2 月の行事予定（変更の可能性あり）

2 日(木)～ 3 日(金) 3 年学年末テスト
8 日(水)～10 日(金) 公立出願
10 日(金) 委員会
15 日(水)～16 日(木) 公立志願・希望変更
17 日(金) 職員会議
21 日(火)～22 日(水)
1・2 年学年末テスト、公立試験
24 日(金)・27 日(月) 公立追検査受付